

応募者名	株式会社ウミゴ	分野	農林水産業、食関連
取組名称	日本初、漁港の釣り場予約サービス「海釣りGO」	取組地域	静岡県賀茂郡西伊豆町

概要

取組内容	海釣りGOは、アプリを通して釣り場・駐車場の予約と利用ができるサービスである。個人の裁量に任されていたこれまでの海釣りに対し、釣り人を責任ある漁港利用者として位置付け、適切なルールのもとで適正な利用料金を漁港管理者に届けることのできる、地域に調和した新しい海釣りレジャーを提案する。アプリ受付できるため夜間や早朝の釣りにも対応可能。スタッフの巡視により、漁港施設の継続的な美化が実現するだけでなく、地元雇用も創出する。アプリを用いて海釣りを持続可能なレジャーに変える海釣りGOは、日本の各地域に貢献できる可能性を秘めている。
実績や効果	◆優良観光客の招致 13ヶ月の利用者数（2023/7/31～2024/8/31）ではのべ6,450人 ※東京都 25.4%、神奈川県24.5%、静岡県 23.8%、埼玉県11.5%、山梨県4.3% ◆漁港設備の改善 漁協さんが釣り人のために、救命はしご、AED設備、休憩所、水道等を施工・設置
取組全体を通じて訴えたいポイント	現地の案内や美化活動など人でなくてはできない部分を現場巡視員が担い、決済や受付をソフトウェアが担うメリハリあるシステムが海釣りGOの強みである。巡視は漁港施設の継続的な美化が実現するだけでなく、地元雇用も創出。巡視員と釣り人のコミュニケーションは地域紹介につながり、観光の窓口となる。

詳細

地域の課題解決・魅力向上	西伊豆町は漁業者の高齢化、過疎化が進み漁港の低利用化が進んでいる。そこに、町外からの釣り人たちが来訪。マナーは悪くトラブルが頻発し、地域への経済効果もあまりないという課題があった。海釣りGOの運用後は、釣り場のマナーが保たれ、巡視によりゴミが激減、漁港の設備投資もどんどん実現していった。
独自性・先進性	釣り人は無料、漁業者や地元のみ負担を負う仕組みが元凶であった。本来漁港は業務利用時は費用が発生する。今回、アプリを用いることで、釣り人は時間に応じた利用料を抛出し、資源管理や設備維持に貢献できる仕組みを構築。条例も改正し堂々と釣りができる世界を作った。
持続性・発展性	釣り人を責任ある漁港利用者として位置付け、適切なルールのもとで適正な利用料金を漁港管理者に届けることにより、「釣り場維持管理」起点では海底清掃、稚魚放流や設備導入などが実現、「賑い・観光」起点では外食・宿泊など近隣事業者への経済波及が生まれる。魚が増え、港がきれいになり、地域が発展する。
他地域への横展開	海釣りGO利用者の拡大やテレビ放映等メディアでの取り上げにより、全国各地からお問い合わせをいただいております。複数のプロジェクトが進行中である。
取組を進めるうえで苦労した点	「せっかく釣り禁止にしたのに、また釣り人を呼ぶのか」という漁業者さんの意見により、導入が難航した。
取組の成果を上げることが出来た秘訣・工夫	西伊豆町の風土が新しい取り組みに対して寛容であること、および行動力のある行政職員と民間のシステム開発のエキスパートがタッグを組んだことである。田子漁港の釣り禁止から約1年のスピード開発。閉鎖された釣り場は戻ってこないという通例を覆した。
今後の展望	海釣りGO導入から初年度で漁協事業としては黒字化し、今や漁協事業のひとつの柱となった。また、漁港は巡視員の見回りにより美化され設備投資も進んでいる。取り組みが進めば進むほど地域の漁港・港湾が再生していく。西伊豆町発信で、日本各地の地域課題を解決していきたいと思う。